

■ 特定非営利活動法人ふれあいサポート（西尾市）

助成金額 57,747円 **使途** マルシェ台(5台)、のぼり(3基)

2002年「お互いさまと助け合い」をモットーにNPO法人を立ち上げ、介護保険事業「訪問介護」(2002~)、「訪問看護」(2007~)、「小規模多機能型居宅介護」(2012~)、「通所介護・居宅介護支援」(2017~)、「グループホーム」(2020~)を運営しています。また、その他に地域貢献事業として「有償ボランティア事業」(2002~)を実施、そして2017年度から「コミュニティカフェふらっと」の名称で常設型認知症カフェを開始いたしました。ここはコーヒーを楽しむほか、各種の趣味講座やランチの日、また介護相談の対応もできる集いの場所です。コロナ禍で営業規模を縮小していましたが、徐々に活動を再開する中、地域の皆様が集える新たな仕掛け作りとして「野菜マルシェ」を企画しました。毎週木曜日に開催し、近隣の方々のご協力のもと、野菜などを持ち寄っていただいています。

このたび、大野良久記念老人福祉基金の助成を受け、マルシェに使用する木製台の作成を地元西尾市のシルバー人材センターに依頼、快諾いただき、折り畳み式の素敵な台を作っていただけました。またのぼりを立てて、文字通りふらっと気軽に立ち寄っていただくことで、人と人とのつながりからの新たなコミュニティ作りを目指しています。



■ 特定非営利活動法人ノーマCafe（東郷町）

助成金額 894,000円 **使途** ダイハツ タント、印刷費、新聞制作委託費

愛知県愛知郡東郷町で地域住民が家族ように支え合い、助けあい、高め合うことで、地域の社会的弱者に人たちが、安心して普通に暮らせるようにするために「東郷ささえ愛家族」プロジェクトを推進しています。今回の助成では高齢者の見守り配食弁当を配達する中古軽ワゴンを購入させていただき、月曜日~金曜日に1日約20件の高齢者のご自宅にお伺いして、夕食の配食と見守りのサービスを提供しています。また、地域の方に当法人の福祉事業である「日常生活サポート」「少子終活サービス」「配食サービス」「多世代交流まちづくりカフェ」の総合的な情報発信を目的にしたチラシを近郊に11000件のポスティングをしたことで、配食、サポートの依頼、サポーターの問い合わせなどもたくさんいただきました。今後も引き続き助成事業を通して、高齢者が地域の中で助け合い、ささえあうことで自立できるサービスや場をつくっていきます。ありがとうございました。



■ 特定非営利活動法人ネットワーク大府（大府市）

助成金額 213,000 円

用途 ボッチャボールセット、輪投げセット、三段式玉入れ台

この度、大野良久記念老人福祉基金の助成を受け、ボッチャボールセット、輪投げセット、玉入れ台を購入させていただきました。毎月開催していますコミュニティカフェや全世代型サロンにて、料理提供までの時間に参加者の方に輪投げゲームをお楽しみいただいたり、デイサービス利用者様と児童放課後支援キッズクラブへ通っている児童でボッチャ交流会を行いました。また、貸出希望のあった事業所への貸し出しも行っています。今後も、多世代や地域の交流を行うなど、閉じこもり防止や介護予防につながる憩いの場づくりを目指し、レクリエーション用品を活用していきたいと考えています。ありがとうございました。



■ NPOおたがいさまの家 いこまい(あいあい)（知立市）

助成金額 350,000 円

用途 エアコンの設置、キッチンの老朽化した床の改修、運営に必要物品の購入（コーヒーメーカー等）、既存の冷蔵庫の廃棄

NPO おたがいさまの家あいあい（知立市）は地域の方々の居場所になってきていますが、あいあいに行きたいけどちょっと遠いのよね、と市の東に住む方々からの声が聞かれるようになりました。そこで、東の方でも空き家を改修して地域住民の居場所を作ろうと南医療生活協同組合の組合員を中心に活動を始めました。見つけた家は、長く空き家になっていましたので床が一部老朽化しており、材料を購入して心得のある男性に修理をしてもらいました。名前をこの地方の方言で「みんなでいこうよ」という意味の「いこまい」として9月24日にオープンしました。平日午前の喫茶を中心に、月に2回の麻雀で脳トレ、月に1回のみんなで作って食べよう・みんなで歌う会など趣味の会も開催しています。高齢の方は、「うちに一人であるより」とか「行くところができてうれしい」などと通ってきてくださいます。



■ 特定非営利活動法人しんしろドリーム荘(新城市)

助成金額 724,000 円

用途 高齢者難聴対策の手元スピーカー20 台設置

当団体は、10 年来、歌声喫茶形式の「うたごえサロン」を毎週火・木曜に行い、毎回 30 人程、年間 2 千人程が歌って健康づくりをしています。その中、生演奏のピアノや歌は聞こえるが、歌詞や話し言葉がわからないと言われ、何とかしたいと思ってきましたが、今回、本助成金の先駆的な活動への応援の言葉に後押しされ、高齢者に聞き取りやすく言葉を変換する手元スピーカーを 20 台設置させて頂きました。利用者の反応は、期待以上のものがあり、97 歳の方(A)は、「ものすごくよくわかる！」と驚かれ、そのお隣に座る方は、「今までなぜ一緒に歌わないのかと思っていただけ、スピーカーのおかげで一緒に歌えるようになって嬉しい。」と言って頂きました。地域団体が自主的に行う介護予防の活動場所での先駆的な事例であることから、介護保険施設や高齢者対象の催事を行う事業者から視察があり、手元スピーカーの効果を感じられる場所として注目され、難聴対策による認知症予防など地域高齢者福祉への貢献が期待されています。



■ 100 までクラブ(半田市)

助成金額 730,000 円

用途 喫茶スペース裏手天井(テルエース)、裏手広場屋根、窓・ドア、土間コンクリート、復旧工事費用

毎週水・木曜日は地域サロンとして高齢者の居場所を提供しています。コーヒー、紅茶、甘酒等を飲みながら楽しくおしゃべりしたり、認知症予防のためにペーパーテストやゲームなどしたり楽しく過ごして居ます。助成金を活用して建物にドアや窓を取り付け、天気の良い日には取り外し、雨や風の日は取り付けできるようにしました。当初の計画ではコーヒーメーカーとグランドゴルフセットを買う予定でしたが、雨が降りテントに水がたまりありそれを取り除いた後に強風に煽られて、鉄骨もろとも吹き飛ばされてしまいました。そのため、計画を変更し、その復旧費用に充当させていただくこととしました。今後は色々なイベントも取り入れて、より多くの高齢者や子供達に楽しんでいただけるように努力して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

